



日野市は2050年までにゼロカーボンの暮らしができる地域の実現を目指しています



第2回

2023年9月3日



第2回日野市気候市民会議 テーマ ～モノ～

日時 9月3日(日) 13:15～17:15

場所 日野市役所5階 505会議室

講師 山口 真奈美氏(一社)日本サステナブル・ラベル代表理事)、(株)セブン-イレブン・ジャパン、日野市資源リサイクル事業協同組合

内容 生産・消費・廃棄と私たちのライフスタイルについて(山口氏)、事業者からの情報提供(セブン-イレブン・ジャパン、資源リサイクル事業協同組合)、参加者によるグループワーク

参加者の感想・意見

●テーマについて

- ・ミニ盛りサービスの実施、不適合品を安く売る。MY容器で販売、長くモノを使い「使い捨て」を減らす。
- ・バイオマス容器や包装のない商品、服の素材などに注目し、環境に配慮した商品、事業者を選択する。
- ・認証マークを统一的に。ロスが発生するまで作りすぎない。買いすぎない。⇒**エシカル消費、行動変容**
- ・分別しやすいごみ箱。ごみ処理やリサイクル状況の可視化。コンポストの促進。賞味期限の延長。
- ・自然に優しいペットボトル等開発。効果を数値化し、ユニークな広告で興味を引く啓発。
- ・環境に良い素材で生産(日野市で)。基準達成度に応じた規制、優遇。⇒**社会の仕組みを変える**

●グループワークに関する感想

- ・既に学校教育に取り込まれているとのこと。大人にも情報提供の場を設けていただきたい。
- ・「環境にやさしい日野市！」で住民を増やし、皆が誇りに思えると良い。
- ・項目に沿って話し合うことができて良かった。次回以降の会議も多様な意見が出せるよう頑張りたい。
- ・欧州に比べ、日本の環境意識の低さを共感できた。環境教育・意識の啓発が急務。
- ・「企業等や自治体ができること」について意見を出すのがとても難しい。

●会議の内容・運営に対する意見・提案・質問

- ・このような会議を催すこと自体が、日野市の地球温暖化防止策を大きく進めることにつながる。
- ・グループワークの検討事項は、あらかじめ参加者に知らせ、発表の手順も示すべき。
- ・項目ごとに分けてくださったので、前回よりも具体的な話し合いができてよかった。



気候市民会議とは

地域の縮図となるよう無作為抽出された市民が、気候変動についてさまざまな情報を受けて熟議し、提言などを取りまとめる会議です。会議は、8月～12月に月1回開催し、政策提言を取りまとめていきます。



次回

10月1日(日) 13:15～
日野市役所5階505会議室

問い合わせ先：環境保全課

電話番号：042-514-8294 FAX:042-581-2516

Eメール：kankyo@city.hino.lg.jp